



大幸薬品

# 2023年12月期 (FY2023) 連結決算報告

2024年2月

大幸薬品株式会社

証券コード：4574

## 1. 2023年12月期 連結決算業績

## 2. セグメント別事業概況

## 3. 今後の事業戦略について

## 4. 2024年12月期 通期業績予想について



**2023年12月期 連結決算業績**

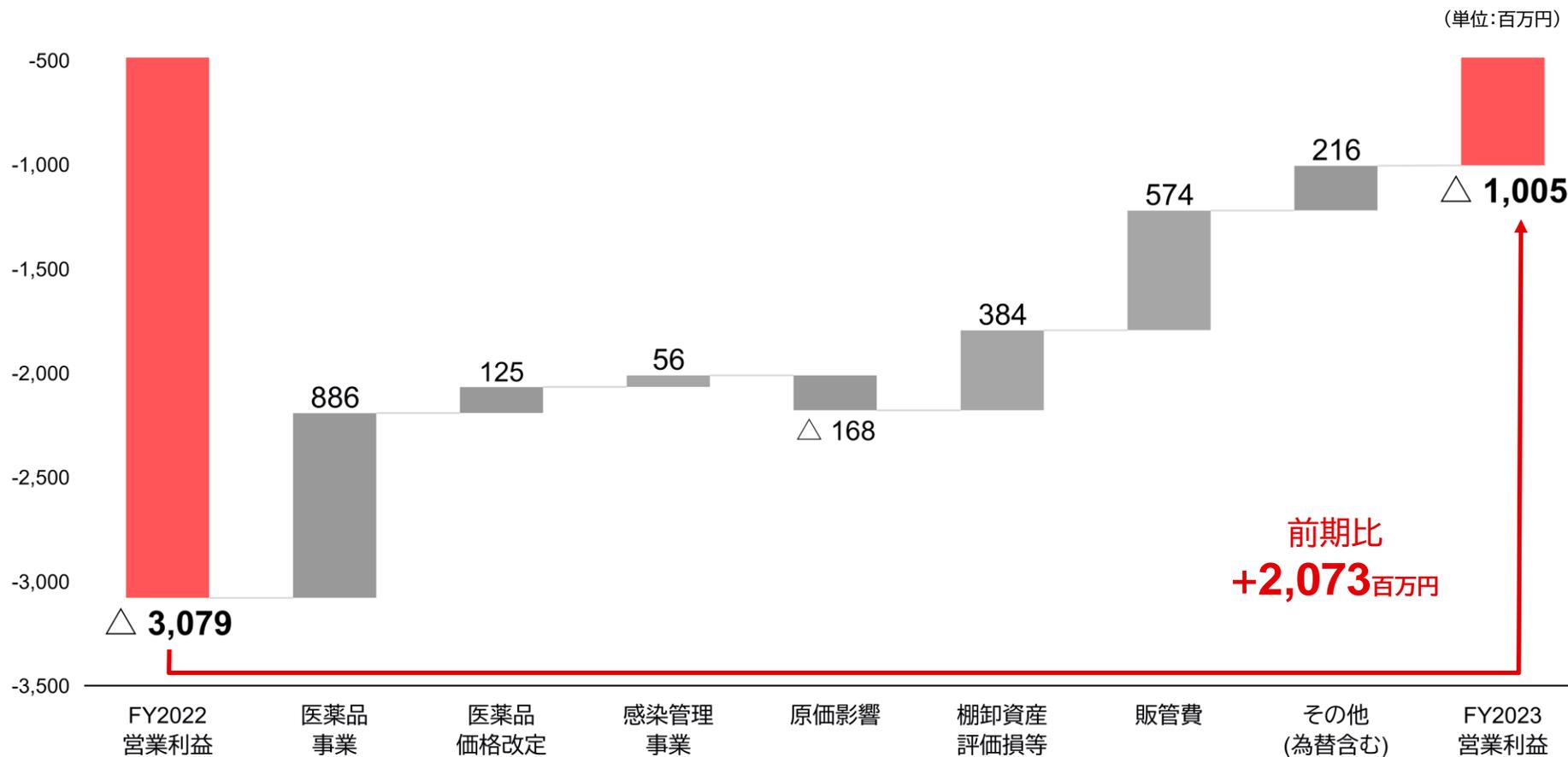
- 医薬品事業の増収が牽引し、売上高は増収
- 棚卸資産廃棄損・返品等の影響縮小や、販管費のコスト削減により、前期比では業績改善
- 「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を慎重に見積もった結果、2,502百万円の減損損失を特別損失に計上

(単位:百万円)

	FY2022		FY2023		増減額	増減率
	通期実績	売上比	通期実績	売上比		
売上高	5,040	-	6,120	-	+1,080	+21.4%
売上総利益	1,078	21.4%	2,577	42.1%	+1,498	+139.0%
販売費及び一般管理費	4,157	82.5%	3,583	58.5%	△574	△13.8%
営業利益	△3,079	△61.1%	△1,005	△16.4%	+2,073	-
経常利益	△3,352	△66.5%	△1,248	△20.4%	+2,103	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△4,895	△97.1%	△3,611	△59.0%	+1,283	-

# 営業利益の変動要因

- 医薬品事業の増収影響に加え、感染管理事業の棚卸資産廃棄損や措置命令に関連する返品等の影響縮小により、前期比で改善
- 販管費は前期比で圧縮



# 販売費及び一般管理費

- 構造改革の推進による固定費削減によって、運送費や人件費、その他経費は大きく減少し、収益体質は改善
- 広告宣伝費は、主に第4四半期に実施した感染管理事業のTVCMにより増加

(単位:百万円)

	FY2022		FY2023		増減額	増減率
	通期実績	構成比	通期実績	構成比		
販売費及び一般管理費合計	4,157	-	3,583	-	△574	△13.8%
販売費	1,226	29.5%	1,173	32.8%	△53	△4.4%
広告宣伝費	502	12.1%	720	20.1%	+218	+43.4%
販売促進費	304	7.3%	259	7.3%	△44	△14.7%
運送費	419	10.1%	192	5.4%	△226	△54.0%
人件費	1,408	33.9%	1,159	32.4%	△249	△17.7%
その他経費	1,522	36.6%	1,250	34.9%	△272	△17.9%
研究開発費	384	9.2%	245	6.8%	△138	△36.1%
支払手数料	544	13.1%	365	10.2%	△178	△32.8%

# 経常利益・当期純利益

- 特別利益: 保有株式の売却益(221百万円)や土地の売却益(76百万円)を計上
- 特別損失: 減損損失(2,502百万円)や茨木工場の転貸損失引当金繰入額(77百万円)を計上

(単位:百万円)

	FY2022 通期実績	FY2023 通期実績	前期比	増減要因等
営業利益	△3,079	△1,005	+2,073	
営業外収益	109	82	△27	主に為替差益の減少:28百万円
営業外費用	383	325	△58	主に操業停止関連費用の減少
経常利益	△3,352	△1,248	+2,103	
特別利益	-	298	+298	固定資産売却益:76百万円 投資有価証券売却益:221百万円
特別損失	1,516	2,613	+1,097	減損損失:2,502百万円 転貸損失引当金繰入額:77百万円 等
税金等調整前当期純利益	△4,869	△3,563	+1,305	
法人税、法人税等調整額	25	47	+21	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△4,895	△3,611	+1,283	

- 固定資産の減損や棚卸資産の評価損計上により、資産を圧縮
- 有利子負債は着実に減少

▶ 「経営をスリム化」

(単位:百万円)

	FY2022 期末	FY2023 期末	前期比	増減要因等
流動資産	7,556	9,109	+1,552	
現金及び預金	3,105	5,484	+2,378	
売上債権	1,798	1,985	+187	
棚卸資産	1,952	1,374	△578	医薬品在庫1,166百万円 感染管理在庫197百万円
固定資産	7,489	4,111	△3,378	固定資産の減損による減少
資産合計	15,046	13,220	△1,825	
流動負債	2,793	3,046	+253	
固定負債	4,208	3,433	△775	長期借入金の返済等
純資産	8,044	6,739	△1,304	
負債純資産合計	15,046	13,220	△1,825	
自己資本比率	53.5%	51.0%	-	

# 連結キャッシュ・フロー状況

- 期末のキャッシュ残高は約52億円と大幅増加
- コミットメントライン契約により追加の調達余力を確保

(単位:百万円)

	FY2022 通期	FY2023 通期	主な要因 (FY23)
営業CF	△1,994	△307	税金等調整前当期純利益 △3,563 減価償却費 704 減損損失 2,502 売上債権の増加 △175 棚卸資産の減少 581 仕入債務の増加 78 課徴金の支払 △607
投資CF	△190	1,166	投資有価証券の売却及び償還による収入 1,021
財務CF	△997	1,539	長期借入金の返済 △1,053 新株予約権行使による株式発行収入 2,119
現金・同等物換算差額	76	49	
キャッシュ増減 ※	△2,724	2,447	
キャッシュ期末残高	2,797	5,244	

※ 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額



## セグメント別事業概況

# セグメント別事業概況

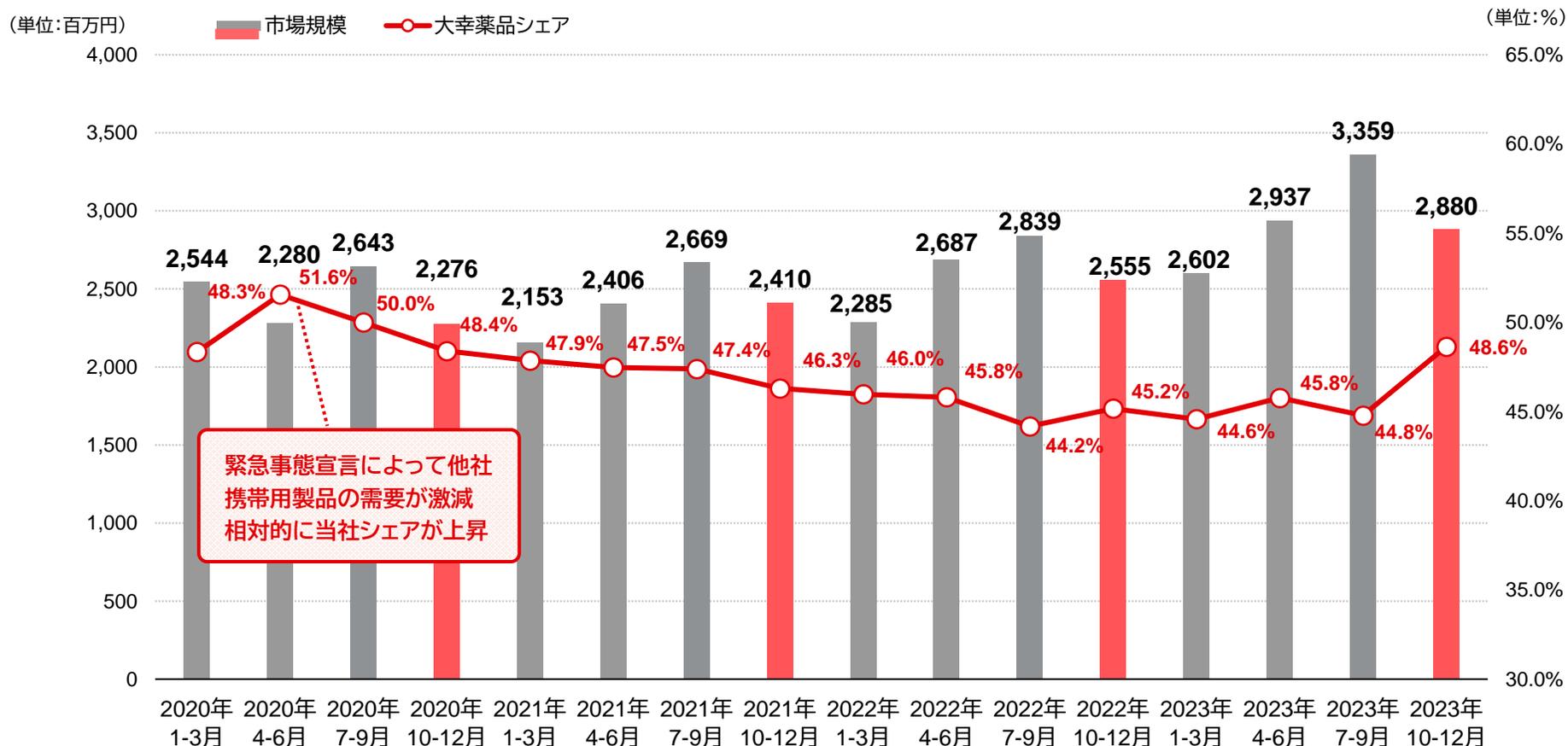
- 医薬品事業 : 国内、海外事業とも増収により、セグメント利益も大幅増益
- 感染管理事業 : 売上は減少も、棚卸資産廃棄損の減少や費用抑制により、損失幅は改善

(単位:百万円)

		FY2022 通期 累計実績	FY2023 通期 累計実績	増減額	増減率
医薬品事業	売上高	3,624	5,185	+1,560	+43.1%
	セグメント損益	297	1,212	+914	+307.2%
	利益率	8.2%	23.4%	-	-
感染管理事業	売上高	1,408	929	△478	△34.0%
	セグメント損益	△2,179	△1,192	+987	-
	利益率	△154.8%	△128.2%	-	-
その他事業	売上高	7	5	△2	△32.5%
	セグメント損益	△44	△28	+15	-
	利益率	△581.5%	△554.9%	-	-

- 国内止瀉薬市場は堅調で、コロナ前の水準を上回って推移
- 当社シェアは48.6%まで上昇

## 国内止瀉薬市場



※出所:株式会社インテージSRI+、店頭小売価格ベース

- 国内医薬品事業は堅調な需要と他社製品欠品の影響もあり大幅増収
- 正露丸クイックCもパッケージリニューアル(2023年7月)後、好調な推移
- 供給体制の強化に取り組み、市場への安定供給を目指す

## 製品カテゴリー別売上高

(単位:百万円)

	FY2022	FY2023	増減額	増減率
	通期 累計実績	通期 累計実績		
国内医薬品事業売上高	2,527	3,336	+ 808	+ 32.0%
正露丸	1,653	2,107	+ 453	+ 27.4%
セイロガン糖衣A	1,267	1,472	+ 205	+ 16.2%
正露丸クイックC	54	246	+ 191	+ 350.5%
その他 ※1	72	91	+ 18	+ 24.9%
返品・値引・協賛等	△521	△581	△60	-

※1 整腸薬「ラッパ整腸薬BF」、止瀉薬「ピシャット」等

正露丸



セイロガン糖衣A



正露丸クイックC



ピシャット下痢止めOD錠



ラッパ整腸薬BF



- 国内市場との製造スケジュール調整によって遅れていた供給を一部再開
- 香港、中国向けの価格改定(値上げ)の影響もあり、増収

## 地域別売上高

(単位:百万円)

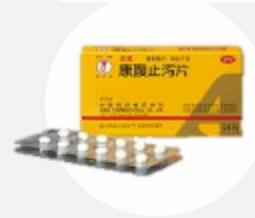
	FY2022	FY2023	増減額	増減率
	通期 累計実績	通期 累計実績		
海外医薬品事業売上高	1,097	1,849	+751	+68.5%
中国	687	840	+153	+22.3%
香港	276	725	+448	+162.4%
台湾	116	272	+155	+133.5%
その他対象エリア ※1	53	101	+47	+88.4%
返品・値引・協賛等	△23	△90	△67	-

※1 米国、カナダ、タイ、マレーシア、モンゴル

正露丸



セイロガン糖衣A



- 新CM「事実、クレベリン。」篇を放映するものの、2023年秋・冬における除菌市場(※)は全体的に低水準で推移

※クレベリンの属する除菌市場

## ■ 対象顧客別売上高

(単位:百万円)

	FY2022	FY2023	増減額	増減率
	通期 累計実績	通期 累計実績		
感染管理事業売上高	1,408	929	△478	△33.9%
国内一般用	1,736	674	△1,061	△61.1%
国内業務用	746	423	△322	△43.3%
海外	176	86	△90	△51.1%
返品・値引・協賛等	△1,250	△254	+996	-





大幸薬品

# 今後の事業戦略について

2024年2月

大幸薬品株式会社

証券コード：4574

- ✓ 医薬品事業を中心に収益基盤を構築
- ✓ 感染管理事業は業績リスクを最小化し採算性を改善
- ✓ 経営のスリム化によって収益体質を改善

**売上高の9割以上を医薬品事業で構成**

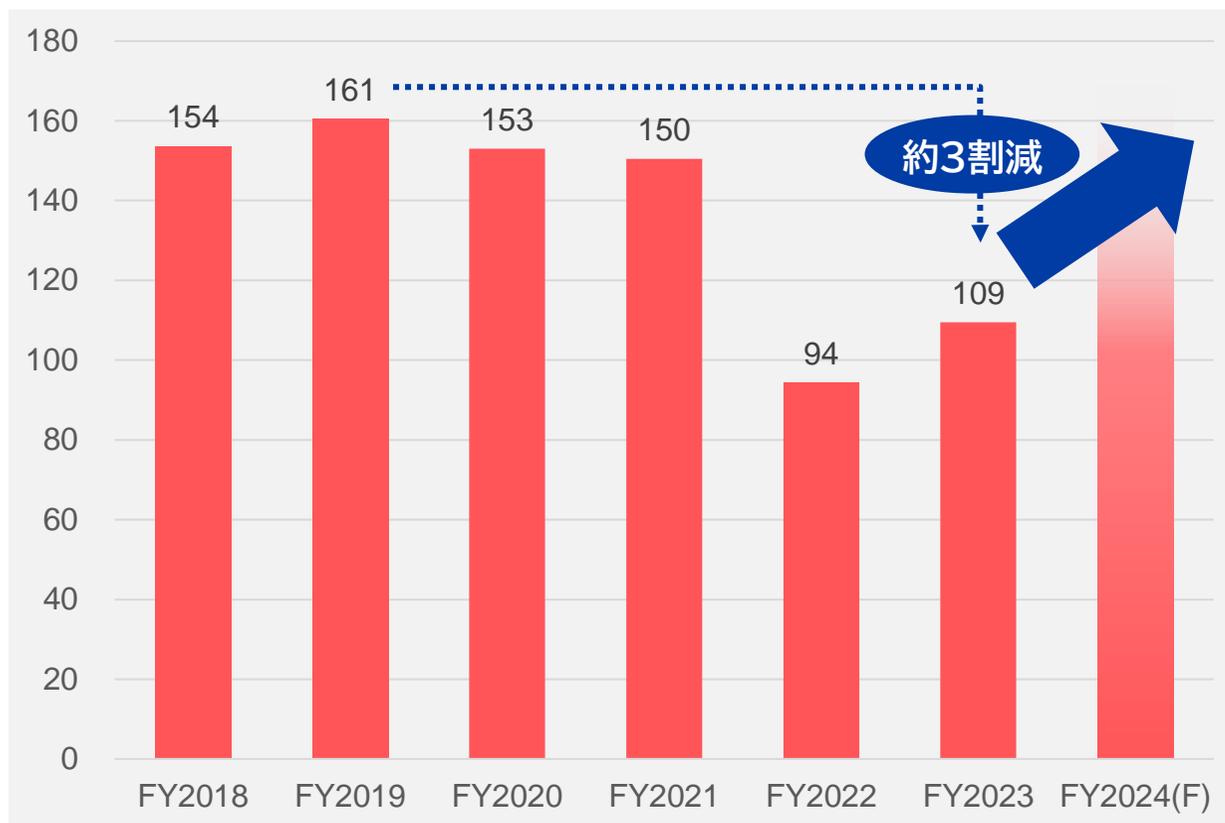
〔市場動向〕	対2022年比 (1-12月)累計	状況
止瀉薬市場	113.3% 	<ul style="list-style-type: none"> <li>止瀉薬市場は<u>コロナ前を上回る水準</u>に回復</li> </ul>
正露丸	133.0% 	<ul style="list-style-type: none"> <li>正露丸は需要の回復や他社欠品の影響もあり<u>大幅増加</u></li> </ul>
セイロガン糖衣A	92.8% 	<ul style="list-style-type: none"> <li>糖衣Aは<u>供給課題</u>の解消に至っておらず<u>店頭販売は回復途上</u></li> </ul>
正露丸クイックC	215.3% 	<ul style="list-style-type: none"> <li>クイックCは<u>パッケージリニューアル</u>影響もあり店頭販売が大きく伸長</li> </ul>

※データ元 インテージSRI+

## ■ セイロガン糖衣Aの販売数はコロナ前と比べても約3割減の水準

&lt;セイロガン糖衣Aの販売数(錠数)推移&gt;

(単位:百万錠)



減少の主要因は  
『供給不足』

FY2024は供給体制  
を強化しコロナ前の販  
売水準を目指す

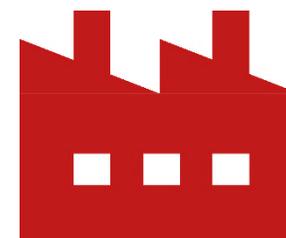
- 2024年は供給体制の強化施策を実行フェーズに移していく

吹田工場/小国工場



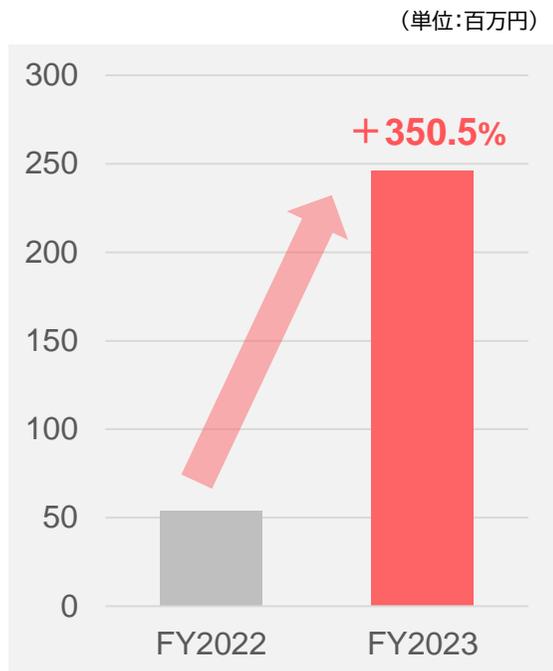
シフト生産体制による  
操業時間拡大

京都工場

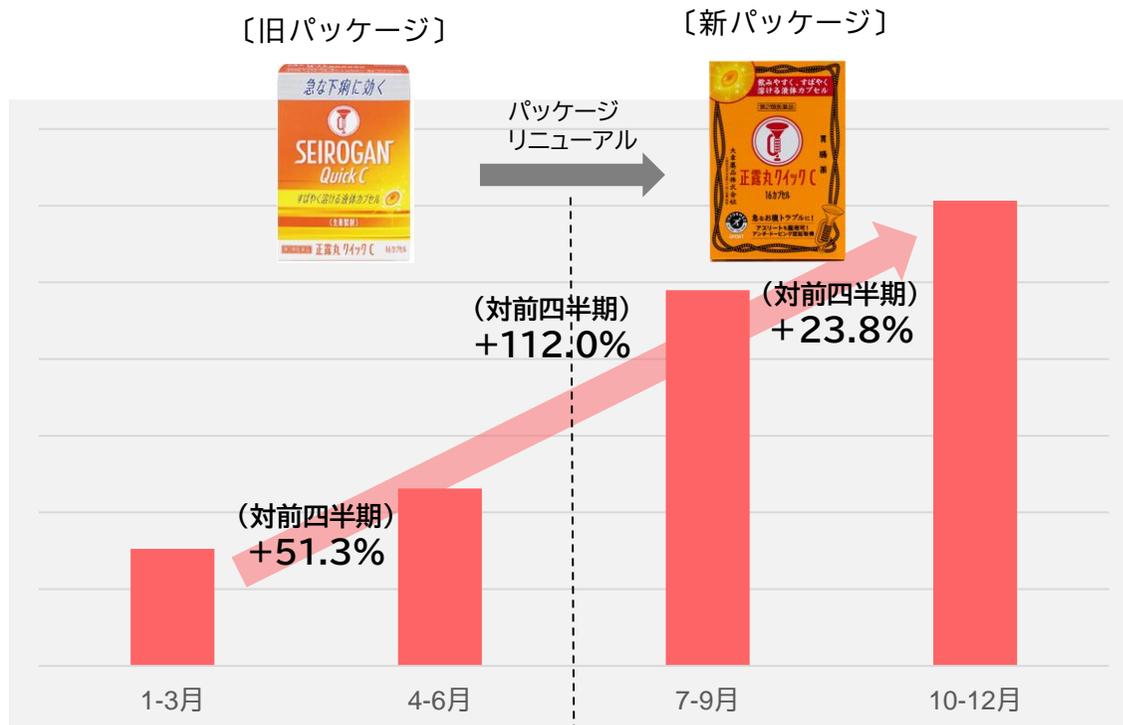


糖衣Aの包装  
ライン立ち上げ

## 国内売上高



## 2023年店頭販売金額の推移



※データ元 インテージSRI+

正露丸、セイロガン糖衣Aが供給不足の中、正露丸シリーズの液体カプセルタイプ「正露丸クイックC」が大きく伸長

■ ラップブランド強化に向けたWEBマーケティング施策が奏功

10代向け施策

フック・きっかけ



ゲーム動画

理解促進



理解促進動画

TikTok内 10代の95%にリーチ

訪日観光客向け施策



中国人KOL  
REDBOOK



台湾人TOPブロガー  
Instagram/FB

認知率(2023年10月現在)

**27.5% → 48.9%**  
(内、10代男性54.2%)

インバウンド店店頭販売実績(2023年)

前年比 **+267%増**  
(非インバウンド店 +60%増)

■ 来期はターゲットを拡大し、胃腸薬として更なる地位確立を目指す

	既存ターゲット① 10代学生男女	既存ターゲット② 訪日観光客	新ターゲット 外出中の方
イメージ			
コンセプト	<b><u>思い出に、おなかトラブルは、似合わない</u></b>		
サブコンセプト	学生生活オケージョン	おみやげのMUST BUY	正露丸最新版 カプセルタイプは 早く溶ける



- 主薬効の木クレオソートが化学物質等から、**生薬**等に
- 薬物相互作用がないことを確認
- 薬物誘発性下痢に対する作用メカニズムを解明
- **食あたり**を引き起こす**アニサキス**への薬効解明
- 水分吸収促進と**脱水防止機能**(米国FDA受理)
- 木クレオソート製剤は**アンチドーピング**認証取得

### 主な研究成果と認証

- ✓ 胃アニサキスの運動抑制作用(2011年論文etc./2014年特許)
- ✓ 運動時および発汗時の体内水分吸収の促進と脱水防止の作用(2017年 米国FDA受理)
- ✓ ヒトの腸内細菌に対して作用しないことを臨床試験で実証(2018年)
- ✓ 胃腸薬製造販売承認基準の一部改正で「生薬」分類(2019年)
- ✓ 糖尿病治療薬「メトホルミン」の副作用下痢への成果(2020年)  
(BMJ Open Diabetes Research & Care)
- ✓ 木クレオソートによるアニサキス幼虫の運動抑制効果(2021年)  
(Pharmacology)
- ✓ 木クレオソートのチトクロームP450阻害を介する薬物相互作用の検討(2021年)  
(Traditional & Kampo Medicine)

## ■ 正露丸、セイロガン糖衣Aの出荷価格改定を予定

### 世界的な価格高騰

- エネルギー価格
- 資源価格
- 原材料価格
- 物流費
- 為替影響(円安) 等

価格高騰に加え、安定した医薬品品質システム構築のため、**約20年振り**に出荷価格改定を予定



- 改定時期は2024年度中を予定しているものの、詳細は別途ご案内予定

- 2023年秋・冬のプロモーションについて、一定の効果はあったものの、市場は伸び悩み、売上も低調に推移

## TVCM



## その他施策

実験動画の公開



プレゼント  
キャンペーン



イベント出展



- コロナ以降、除菌市場の売上予測が難しい状況が続いていることを踏まえ、「軌道修正」

BEFORE

信頼回復に向けて  
マーケティング  
投資優先

AFTER

信頼回復に向けて  
エビデンス強化に係るR&Dを優先

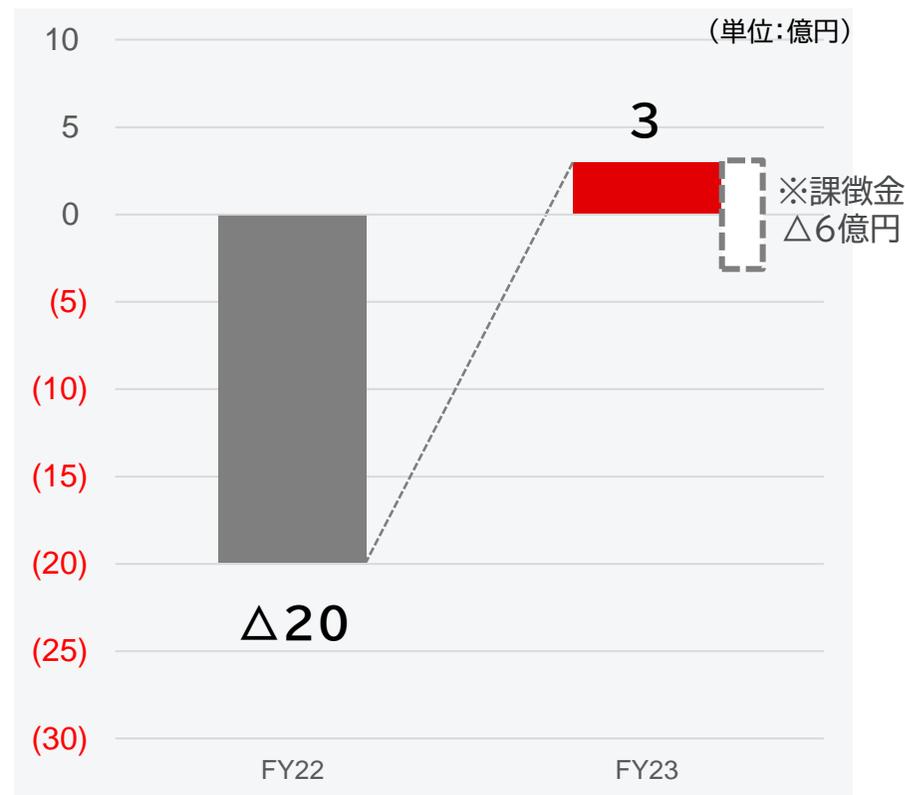
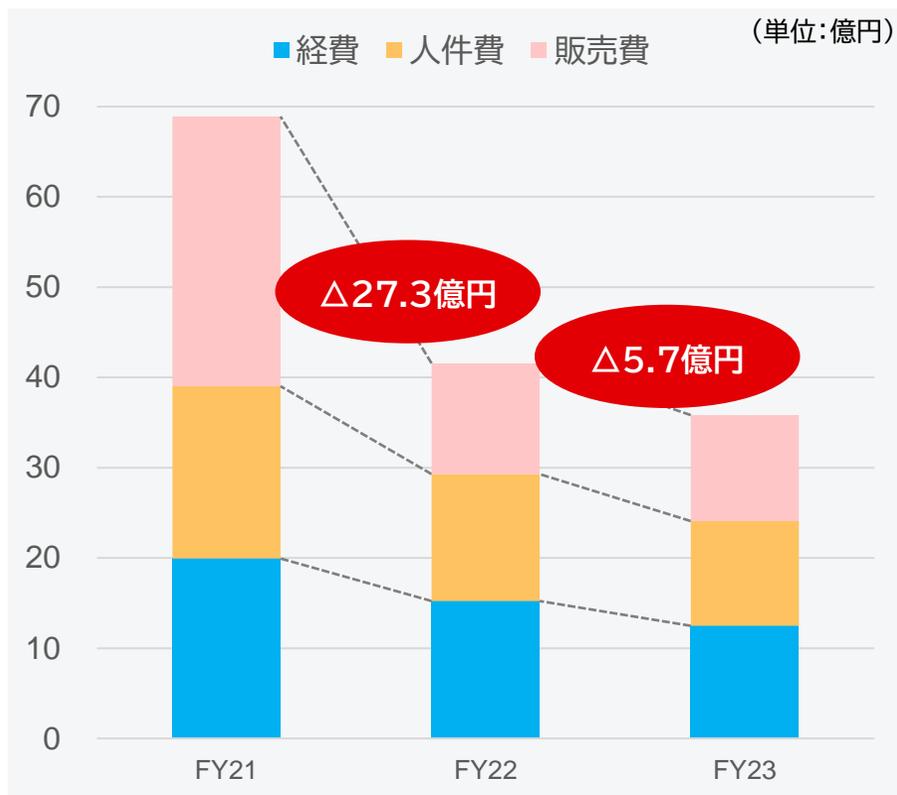
- ✓ JSA規格の制定やエビデンス取得に係る試験を強化

コストコントロールの強化

- ✓ 売上規模に応じたマーケティング費用の投下

## 収益体質の改善

- 販管費は2年で約33億円削減(△48%)
- 営業キャッシュ・フローはプラス転換(3億円)  
※特殊要因(※課徴金支払:約6億円)除く



## 財務基盤の強化/適正化

-  **新株予約権の行使: + 21.7億円**  
→ 2024年1月行使完了
-  **保有資産の売却 : + 11.9億円**  
→ 投資有価証券償還及び売却: 10.2億円  
→ 遊休土地売却: 1.7億円
-  **有利子負債の削減:  $\Delta$  5.5億円**  
→ 37.6億円(22年末) → 32.1億円(23年末)
-  **固定資産の減損 :  $\Delta$  25.0億円**  
→ 2024年度以降の償却負担減少

## ● 取捨選択によって更なる収益体質の改善へ

### <適正化するもの>

#### 茨木工場

→転貸契約締結

コストダウン  
△1.2億円

#### オフィス面積

→東京オフィス  
(2023年8月済)  
→本町オフィス  
(2024年8月予定)

コストダウン  
△0.4億円

#### 滞留在庫

→FY23廃棄損、  
評価損計上

#### 一般経費

→更なる効率化の  
推進

### <強化するもの>

#### 医薬品の 供給体制

#### R&D費用

→医薬&感染

#### 人材投資

→企業理念である  
「自立・共生・創造」を  
実現できる人材育成

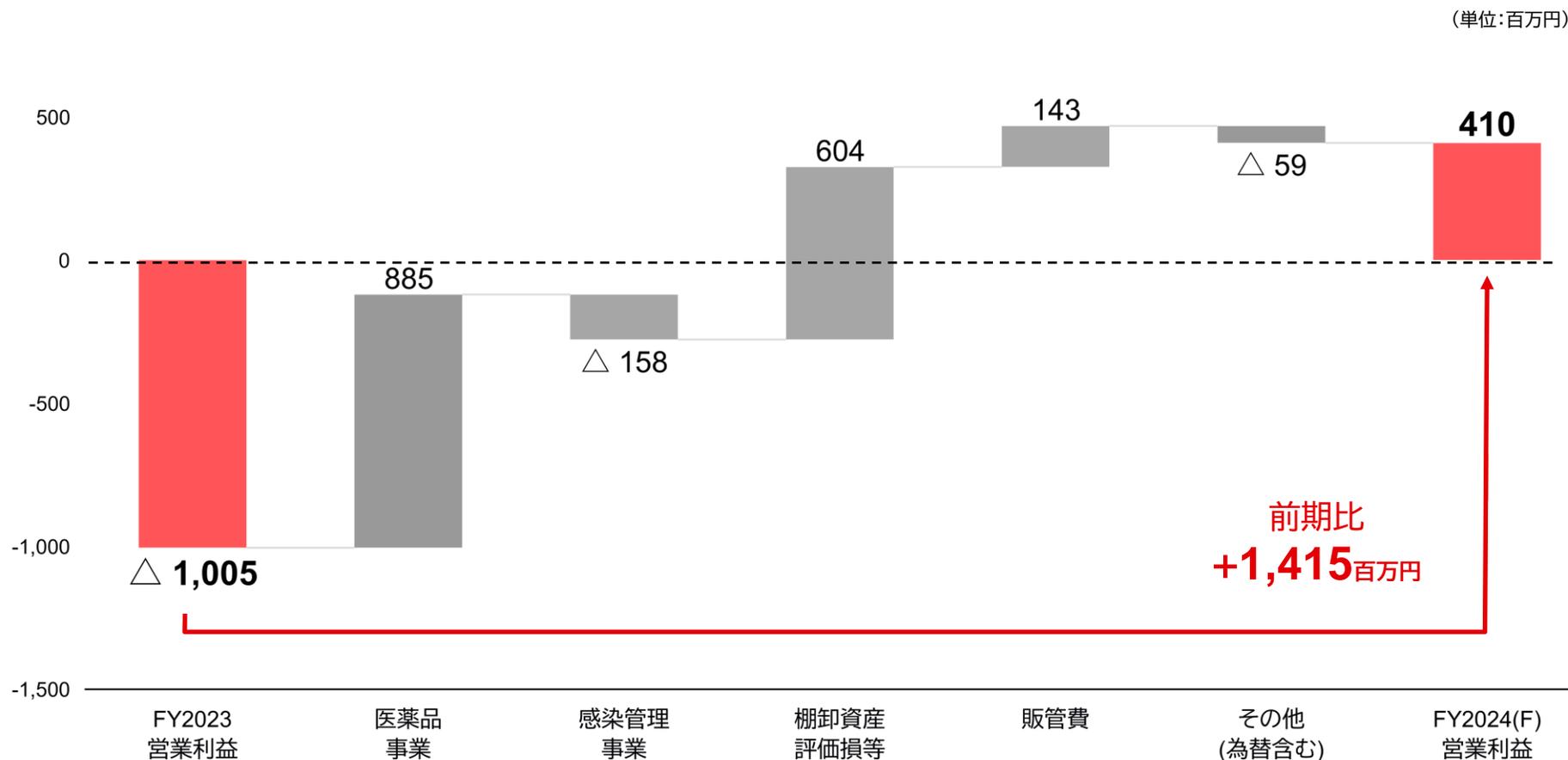
■ **医薬品事業を中心**に着実な業績改善を実現し、**黒字化**を目指します。

(単位:百万円)

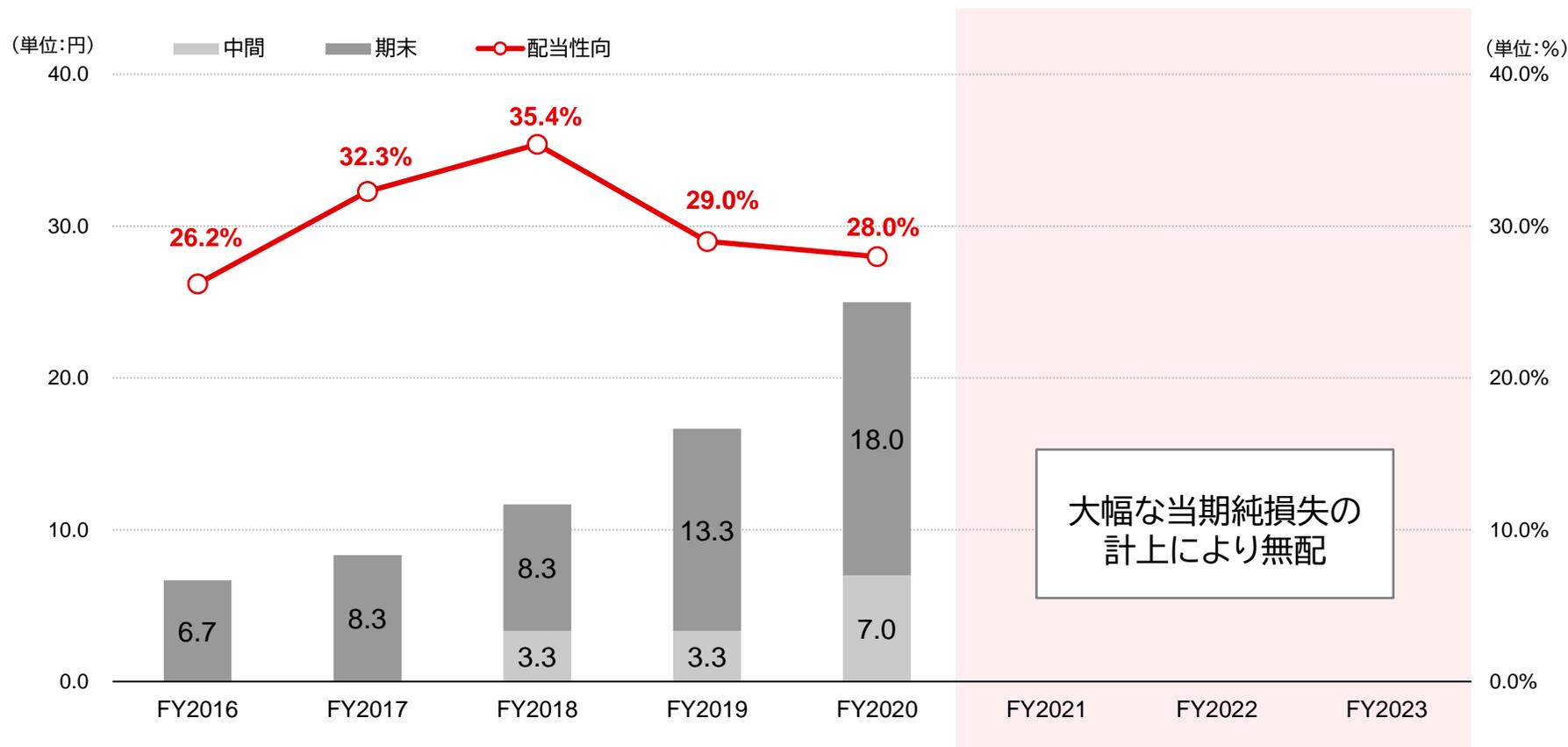
	FY2023 実績	FY2024 業績予想	増減額	増減率
売上高	6,120	6,800	+679	+11.1%
医薬品	5,185	6,194	+1,009	+19.5%
感染管理	929	600	△330	△35.5%
その他	5	6	+0	+16.8%
営業利益	△1,005	410	+1,415	-
経常利益	△1,248	360	+1,608	-
当期純利益	△3,611	350	+3,961	-

# 営業利益の変動要因(FY2024見込み)

- 医薬品事業はセイロガン糖衣A、クイックCの販売増、価格改定影響により増益を見込む
- 感染管理事業は減益を見込むものの、棚卸資産評価損等が減少することや販管費の減少により営業利益は410百万円を見込む



## ■ 配当推移



**2024年度 配当予想: 未定**

→業績回復の目途が明確になった時点で、早期の復配について検討させていただきます。



世界のお客様に  
健康という  
大きな幸せを  
提供します。

## 医薬品事業



においがいい糖衣錠

**セイロガン糖衣A**

第2類医薬品

昔ながらの常備薬

**正露丸**

第2類医薬品



## 感染管理事業





# 大幸薬品

## 将来情報に関する注意事項

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、  
将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません